

小麦栽培情報 2月号

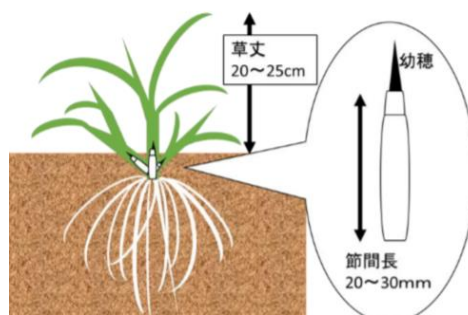
令和5年1月19日
J A 柳 川
南筑後普及指導センター

【小麦】

1 麦踏み

3葉期から2月下旬頃の節間伸長開始期までに3～5回程度行います(生育に応じて麦踏みの晩限は前後します)。生育旺盛なほ場では、1～2回多めに実施します。

ほ場が湿っていると、土壌を締め付け、麦の生育を抑制するため、十分乾燥した状態で行います。



麦踏み晩限：草丈 25cm 程度

2 土入れ

倒伏防止や排水対策、雑草防除に有効で、3月上旬頃までに2～3回程度実施し、麦の生育に応じて土の量を調整します。土塊が大きくなならないよう、麦踏みと同様に土壌が乾燥した状態で行います。

なお、できるだけ麦踏み前に実施し、麦が土に埋もれないようにします。(麦踏み後に実施する場合は生育が回復するまで空けます)



土壌が乾燥した状態で実施

3 排水対策

麦は湿害に弱く、排水不良田では根傷みや生育ムラ、枯熟れ等が生じ、収量や品質に影響します。

降雨後の排水を促すため、排水溝の整備や土入れを行います。

枕地と落水口をつないでいないほ場では、枕地で滞水して湿害が発生しやすくなるため、必ず枕地をとおすように作溝します。



枕地をとおして落水口へつなぐ

4 追肥

出芽が揃っているほ場では、基準量の追肥を1月下旬頃に行います。

なお、出芽が1月上旬頃まで遅くなったほ場や、深播き等で出芽の揃いが悪いほ場では追肥一発肥料を使用せず、2月下旬～3月上旬に生育に応じて、NK化成2号を10～20kg/10a程度施用します。

5 雑草防除

発生している雑草の草種に合う薬剤の選択が重要です。ほ場の雑草を確認し、こよみや下記を参考に雑草防除に取り組みましょう。また、薬害防止と除草効果安定のため、薬剤散布直前～散布後1週間以内の麦踏み・土入れは避けます。

既に、ハーモニー細粒剤Fを使用したほ場では、ハーモニーDFは使用できません。

薬剤名	適用雑草	使用時期	10a 当たり 使用量	備考
ハーモニーDF	スズメノテッポウ、 一年生 広葉雑草	播種後～節間伸長前	5～10g (水 100L)	<ul style="list-style-type: none"> ・使用回数：1回以内 ※ハーモニー細粒剤FとハーモニーDFは、いずれか1回しか使用できない ・<u>籽類</u>に効果が高い ・<u>カラスノエンドウ</u>6葉期まで効果あり
	一年生 広葉雑草	節間伸長開始期～ 穂ばらみ期 (収穫45日前まで)	3～10g (水 100L)	
エコパート フロアブル	一年生 広葉雑草	節間伸長開始期まで (広葉雑草：2～4葉期) (ヤムガラ：2～6節期) (収穫45日前まで)	50～100ml (水 100L)	<ul style="list-style-type: none"> ・使用回数：2回以内 ・<u>ヤムガラ</u>に効果が高い ・カラスノエンドウへの効果は劣る ・茎立期以降は使用しない
バサグラン 液剤	一年生 広葉雑草	小麦の生育期 (収穫45日前まで)	100～ 200ml (水 100L)	<ul style="list-style-type: none"> ・使用回数：1回以内 ・<u>キボウケ類</u>に効果が高い ・<u>カラスノエンドウ</u>3葉期まで効果あり ・高温、晴天時に効果が高い

農薬使用上の注意

- 1 散布前に必ず農薬ラベル(①適用作物、②使用量や希釈倍数、③散布時期や総使用回数、④有効期限)を確認!
- 2 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止対策を徹底!
- 3 散布後は必ず散布器具(タンク、ホース等)を洗浄!
- 4 防除履歴の正確な記帳!